

『時のまにまに聴く音楽』～自己紹介を兼ねて～

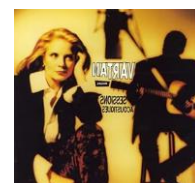
- (1) 映画『裸の島』メインテーマ、ヴェルヴェット・ワルツ〔NAXOS 8.573595、2015 年カナダの教会での録音〕

ハーモニカ (和谷泰扶) とギター (福田進一) との共演。『裸の島』は、1960 年、新藤兼人監督による作品で、作曲は林光。「ヴェルヴェット・ワルツ」の作曲は吉松隆で、組曲「優しき玩具」の中の一曲。



- (2) アイドルを探せ〔PHIRIPS PHCA-161、1993 年〕

1963 年、シルビー・ヴァルタン (vo) によるフレンチポップスの大ヒット曲。今回お聴きいただくのは、アコースティック楽器をバックに、50 歳ごろ再録音したもの。



- (3) 朝花～ギターバージョン～ (2007 年)〔Stereo Sound SSCDR-002〕

石川さゆり (vo) が二本のギターをバックに歌っている。太陽誘電社製のマスター専用 CD-R 使用。「天城越え」とのカップリング。



- (4) 鳥の歌～『長岡鉄男外盤 A 級セレクション』(第 1 巻) から～

〔仏 HARMONIA MUNDI 901099、1982 年のスタジオ録音〕

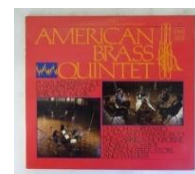
作曲は、クレマン・ジャヌカン? 4 人 (CT・T・Br・B) のアンサンブルで、長岡氏曰く「録音は超 A 級、声が力強く、鮮明で、透明で、艶がある。深みのある高品位の艶だ・・・・・・・・・・。」



- (5) Battle Suite～『長岡鉄男外盤 A 級セレクション』(第 2 巻) から～

米 DELOSDE DE3003、1979 年の録音〕作曲は、ドイツ初期バロックの Samuel Scheidt?

演奏は、アメリカ金管 5 重奏団。Intrada、Courant、Galliard Bataglia の 3 曲から成る。長岡氏曰く「録音は、マニア向けの本格派というか、小細工なしの自然体というか、実にリアルなサウンドと音像・・・・・・・・・・」



- (6) From Bamburgh's High Walls〔英 linn-records、AKD106〕

Andrew White (gt)『GUITARRA CELTICA』からの 1 曲。



- (7) 「ジョニー&マリー」マーティン・テイラー (gt) を中心にした軽快なジャズ。

- (8) 弦楽のための小交響曲～第 2 楽章 作曲はラヴェル、演奏はスコティッシュ・アンサンブル

- (9) スコットランド風ユーモアに基づくグラウンド 作曲はマティス、演奏は、パラディアン・アンサンブル (リュートなど 4 人編成)



※ (7) ～ (9) は、Linn Products 社創立 40 周年記念アルバム

(linn-Records AKD425、2013 年) から